

## しょうきょうせい

## 床矯正ってご存知ですか？

最近、日本人のあごが小さくなったといわれています。あごが小さいと歯の生えるスペースが狭くなり、本来生えるべきところに生えることができずに前後左右にずれて生え、歯並びが悪くなります。子どもの頃にしっかりとあごを使ったかで、あごの大きさは左右されます。歯並び、かみ合せが悪くなる原因はさまざま。子どもの頃の習慣や癖(ほおづえ、指しゃぶりなど)も大きく影響します。

歯並びをよくする方法として、従来は**抜歯矯正**(歯を抜いて生えるスペースを確保し、歯をきれいに並べる方法)になってしましますが、この方法だと何の問題もない健康な歯を抜くというのが大きな欠点になってしまいます。しかし、この**床矯正**では**歯を抜かず**に成長期に合わせて専用の装置を使い小さなあごを正しい位置に歯が並ぶ大きさまで広げるという方法です。歯を抜かない方法から**保存的矯正**といわれています。

### 治療の開始はいつが最適？

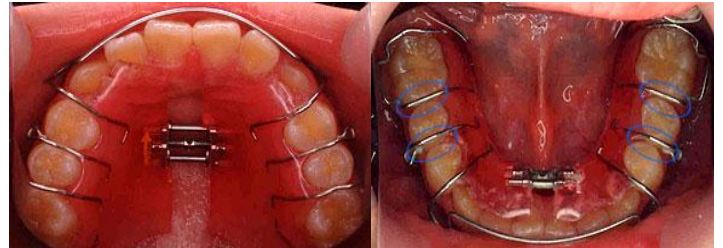
床矯正は子どものうちからその成長に合わせて矯正していくことが最も効果的です。例えば、前歯の叢生(そうせい)の場合は7歳から9歳くらいからの開始をお勧めします。矯正治療を専門とする歯科医院に行くと「**治療を始めるにはまだ早いので、様子を見ましょう**」と言われることがよくあります。それは抜く歯(スペースを空けるための歯)が生えてくるのを待つからです。しかし、歯が生えるのを待っていても子どもの成長は待ってくれません。特に女の子は約14歳で発育が終了してしまう子もいます。「おかしい」と感じたら、様子を見ていないで早期に治療を開始しましょう。

### 治療の進め方について

この床矯正装置の一番のメリットは入れ歯と同様、取り外しが可能なことです。食事や歯みがき、発音障害を生じる場合(国語、音楽などの授業)は装置を外すことができます。しかし、この装置は**毎日最低14時間以上**入れておかないと効果が出ませんので注意が必要です。

### ↓ 床矯正装置

装置は中央にネジがついており、↑の方向に巻いていきます。基本的に1週間にネジを2回巻きあごを少しずつ広げていきます。一方向しか移動ができないので、あごを広げる装置、歯を押し出す装置といくつかの装置を組み合わせる治療を行います。



### 何処？そこ！行ってみたい(隊)

今回は杉村歯科のレクレーションで、宇土市網田町にある蒼土窯(そうどがま)さんで陶芸体験をさせていただきました。



お皿を作ることになり、まずは先生にお手本をみせていただきそのあと私たちが作製していくのですが、なかなか思うような形にならず大変でした。

大体の形ができれば、次は模様つけです。ここ蒼土窯では自然の草花を粘土の上に押しつけて模様を入れます。各自、気に入った草花を思い思いに配置していくの

ですが、センスのいる難しい作業でした。

この後は乾燥、絵つけの行程が残っているのですが今回はひとまずここで終了です。出来上がりがとても楽しみです！！先生、ありがとうございました♪♪

お世話になった蒼土窯の前田和先生です。先生はモニュメントなどの大作から陶板、食器まで幅広く手がけられています。また、2009年新JR宇土駅の東口のモニュメントも先生の作品です。

〒869-3173

宇土市下網田町 380

☎0964-27-1707

営業時間 9:00~17:00

定休日 無休

★自宅展示室もありますので足をはこばれてはいかかですか。

